社会福祉法人太陽会　安房地域医療センター

おひさまニュース

2021 春号
4月15日発行

ホームページ

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 http://www.awairyo.jp/
発行責任者：福内正義　編集責任者：根本達也

三回の裏

安房地域医療センター
院長　福内正義

私が準硬式野球部に所属していた大学二年の夏、東日本医科体育大会(以下東医体)の二回戦で、北の強豪といわれた医学部と対戦することになりました。私の所属する昭和大学野球部は東関東医科リーグでは3部中の1部と2部を行き来するようなちょうど中の中くらいのチームでした。一回戦はサークルから部活に昇格したばかりの大学にあたりコールド勝ちをおさめていました。その勢いのまま向かった二回戦では初回から強力打線の猛攻にあい、あっという間に点差は広がり、今度は我々がコールド負けを喫することになりました。

現在新型コロナウイルスの第3波がおとずれています。コロナウイルスと人類のたたかいを野球の試合に例えると三回の表コロナウイルスの攻撃中といったところでしょうか。振り返ると昨年の初めに国内で広がり始めたコロナウイルスに対して一回の表は、未知の新型ウイルスに対してできたことといえば緊急事態宣言を出し、学校は休校、大型の店舗や施設は休業し、ただただ人同士の接触を減らすことのみでした。その後一定の効果をみせ感染の拡大は減弱化することになりました。第2波は夏場におとずれました。緊急事態宣言は出されなかったものの第1波同様に三密をさける新しい生活様式を提唱することで感染の拡大を封じ込めることが可能となりました。その後新しい生活様式に慣れてきたわれわれは感染の増大とも封じ込めともいえない一進一退の状況が継続していました。

その中で迎えた昨年の師走、連日のように国内、特に都内で新規感染者の記録が更新され、そして大晦日に都内で初めて1,000人を超える感染者が出て2021年1月7日より二回目の緊急事態宣言が出される結果となりました。

現在医療従事者に対するワクチンの優先接種が始まっております。当院でも3月22日から職員への接種が開始されました。できるだけ多くの人がワクチン接種をすることで集団免疫が獲得でき新規感染者を減らすことが可能になります。ワクチンの効果や副反応に関しては、様々なサイトで紹介されていますので、そちらをご参考にしてください。このワクチン接種によって、今まで防御一辺倒であった人類の最大の反撃のチャンスが来たとも言えます。これから始まる三回の裏の人類の攻撃でワクチンを利用し、今までの挽回をし、最後には新型コロナウイルスに勝利したいものです。

ニュース

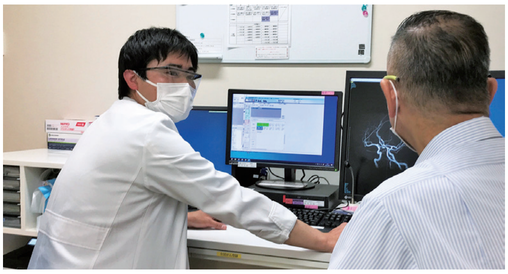
房総メディカルアライアンスを共に創設した南房総市立富山国保病院の鈴木孝徳病院長が、この度「第49回医療功労賞」の中央表彰者として受賞されました。

永年の功績に敬意を表し、謹んでお祝い申し上げます。

診療科のご紹介

内科系				外科系			その他系
総合診療科	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	腫瘍内科	甲状腺外来	外科	婦人科	脳血管内治療科	救急科
呼吸器内科	膠原病内科	脳神経内科	健診外来	肛門科	乳腺外科		透析科
消化器内科	小児科	胸部精検		整形外科	スポーツ整形		麻酔科
循環器内科	腎臓内科	糖尿病甲状腺内分泌内科		泌尿器科	皮膚科		リハビリテーション

脳血管内治療科



2020年4月より、第2・第4月曜午前に脳血管内治療科の外来を行なっております。

脳血管内治療とは、頭蓋内や頚部の病変に対し、直接切開せずにカテーテル（ボールペンの芯程度のチューブ）を血管の中に通して病変の内側から治療をする総称です。カテーテルは、脳動脈瘤に対してプラチナ製の糸（コイル）を瘤内に詰めて破裂を予防（コイル塞栓術）、頚動脈の狭窄は血管の内側からバルーン（風船）やステント（金属の管）を使って血管を押し拡げる手技を施します。

それに対して従来の脳神経外科の治療は、体の外から中（=病変）に向かって直接切開して手術を行います。例えば脳動脈瘤に対するクリッピング術※や、頚動脈狭窄症に対する頚動脈血栓内膜剥離術などが相当します。

※脳血管内のこぶが破裂しないようクリップではさむ治療法

このように、脳血管内治療と脳神経外科手術とでは治療の目的を同じくするところもあります。しかし昨今は、脳血管内治療の低侵襲性（ていしんしゅうせい）が注目を集めています。予定手術であれば平均1週間弱の入院ですが、多くの場合退院直後から生活に制限はありません。傷はカテーテル挿入部位の刺し傷のみです。

脳ドックなどの頭の検査で、以下のような指摘をお受けになった方はぜひ一度ご相談ください。お話をするだけでも漠然とした不安から解放されるかもしれません。

- **頭頚部の血管病変：**脳動脈瘤、頚動脈／頭蓋内動脈狭窄症、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻など
- **脊髄血管障害：**脊髄硬膜動静脈瘻や脊髄動静脈奇形

なお、当院には一般の脳神経外科外来はございませんが、当外来での診療も可能ですので、お気軽にご相談ください。

門岡慶介（かどおかけいすけ）　脳神経外科指導医　脳神経血管内治療指導医

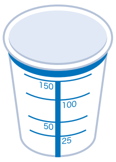
出身地：鹿児島県
趣　味：ドライブ、旅行、植物鑑賞、美味しい食事とお酒
房総の好きなところ：
気持ちのよい海と空と人、美味しい魚

検査あるある

尿検査の時おしっこの量はどのくらい必要なの？

臨床検査室　室長　鈴木基郎

検査項目にもよりますが、おおよそ25ml～50ml（コップの約3分の1）程度採取できれば十分です。健康な人でも、尿の出始めには、雑菌が混じることがありますので、混入を避けるために、中間尿（排尿時の最初と最後を除いた尿）をコップに採ってください。



検査前日は、ビタミン剤やドリンク剤などはとらないように気をつけましょう。尿の成分に影響が出てしまったり、誤った結果になる恐れがあります。

病院救急車活躍中！

総務課
運転管理室　川上泰弘

2020年11月、病院で使用している救急車の老朽化に伴い、車両更新をしました。車両内の設備としては、酸素・吸引器・心電計・AED・ストレッチャーを搭載しています。

救急車は、主に他院との転院搬送に使用しています。以前は、ほとんどの転院搬送を消防機関へ依頼していましたが、救急隊への負担が多くかかることや、救急搬送を要する患者さまに支障がでることを考慮し、当院の救急車の運用をもっと増やせないか検討し、徐々に当院救急車の稼働が増えています。

救急車の搬送は、車内での患者さまの容態確認が必要となり、同乗者がいないと使用することができませんでしたが、2020年4月より総務課に救急救命士の資格を持った職員が入職したことにより、依頼があれば同乗者としてスムーズに救急車を使用することが可能となり、昨年度の約２倍以上の稼働実績でした。

現在は、消防機関の救急車に同乗する救急救命士と比較し、車内で実施できることは限られますが、病院の救急車に同乗し患者さまを搬送する際は、常に患者さまを観察して容態の把握を行っています。

容態の把握とは、主に意識確認のことで「起きている状態」または「自分の今ある状態や周囲の状況などを把握できている状態」のことで、少しの意識低下も見逃すことの無いよう注意しています。特に高齢者の容態変化は気づきにくいため細心の注意を払っています。

搬送中は、患者さまの不安や苦痛が和らぐように「安心してください」などの励ましの声をかけるとともに、最も容態に適した体位で動揺を極力防止し安静に搬送するよう努めています。

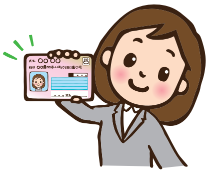
これからも患者さまの安全を第一に考えて、救急車の搬送業務に努めてまいる所存です。

マイナンバーカードの取得はお済みですか

必要な機器が設置してある医療機関などで、マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになりました。当院でも、この夏の導入に向けて準備を進めています。

マイナンバーカードをご提示いただくだけで保険証の資格確認がスムーズになるだけでなく、急な入院などで高額医療費制度の書類申請や申請が間に合わなかった場合の一時払いが不要になるなど、いろいろ便利なことがあります。

マイナンバーカードの取得には手続きが必要です、詳しくは当院受付窓口のパンフレットをご覧ください。



トピックス

千葉県より感謝状

　令和元年房総半島台風、東日本台風及び10月25日の大雨の一連の災害での復旧・復興における尽力に対し、千葉県知事より令和2年12月21日付で感謝状をいただきました。当院の他、全部で82の団体や医療機関に贈られました。今後も地域のみなさまのお力になれるよう職員一同励んでまいります。

舗装工事が終わりました

　当院では、患者さまの安全確保について、さまざまな改善を検討し実施しています。今回は、昨年度おこなわれた舗装工事の中から病院施設周辺で患者さまの動線にかかわる工事を紹介致します。①バス停前／②出口から駐車場に抜ける車庫前／③透析患者さま専用駐車場周辺／④本館玄関前

　劣化に伴い、ひび割れや凸凹など、患者さまの歩行や車両通行に危険だったため、舗装致しました。その他の箇所も徐々に工事を進める予定です。

②車庫前　④本館玄関前

工事前

工事後

PWJ(ピースウインズ・ジャパン)との連携

陰圧テント

　安房地域医療センターは、2020年8月21日特定非営利活動法人ピースウインズ・ジャパン（以下PWJ：本部は広島県神石高原町）と災害時又は災害が発生する恐れがある場合の対応に関する協定を締結しました。主に以下のような支援協力です。

- **災害等発生時の医療スタッフの派遣**
- **傷病者の搬送や受け入れ**
- **被災現場での被災者支援活動など**

　PWJは、協定締結前の令和元年房総半島台風（台風15号）で被災した際には、積極的な診療支援活動にご尽力いただきました。締結後は、おかゆやグローブ、陰圧テント（上写真）などの物資の提供が既に始まっています。PWJはヘリコプターによる支援活動も展開しており、当院ヘリポートを使用しての幅広い支援が期待されます。

ワクチン動画放映中

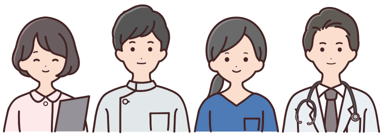
こびナビ

　3月から、本館1階中央廊下や院内数ヶ所の待合エリアで動画放映をはじめました。新型コロナウイルスワクチンの最新情報を提供するサイト：COV-NAVI（こびナビ）など、各情報サイトから配信されているお知らせや役立つ情報などを放映しています。みなさま、ぜひご活用ください。

編集後記

おひさまニュース
バックナンバー

　今年度も医師、看護師、コメディカルの新入職員を迎えました。入職に至るまで、誰も経験したことのない苦難を強いられたと推察でき、まだまだ先が見えないコロナ禍で医療と向き合います。厳しい環境が続きますが、志を持ち日々努力を重ねていくことでしょう。温かいご支援ご協力をお願い致します。ワクチン接種も始まり、明るい方向へと導かれることを祈るばかりです。



じゅんぺりぃ